

第18回 NFSJカフェ

現職警察官に聞く！ ニッポンの人身取引事情

他人の自由を奪い、意思に反して働かせ、その利益を搾り取る「**人身取引**」。

21世紀の現代においても社会にはびこる不正義であり、犯罪です。

日本もけっして例外ではなく、毎年数十名の「**人身取引被害者**」が保護され、加害者が逮捕・起訴・処罰されています。

日本で起きている人身取引とは、具体的にはどんな事件なのか？

日本のどこで起きているのか？

どんな人が加害者で、どんな人が被害者なのか？

なぜ人身取引が起きてしまうのか？

警察はどのように事件をつかみ、どんな捜査をしているのか？

日本特有の問題はあるのか？

私たち一般人は、それに対して何ができるのか？

——警察庁で人身取引対策を担う新井淳さんに、具体的な疑問をぶつけてみたいと思います。
この貴重な機会を、ぜひお見逃しなく！ お気軽にご参加ください。



広 報 資 料
平成31年 2月28日
保 安 課

平成30年における人身取引事犯の検挙状況等について

1 人身取引事犯の検挙状況

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
検 挙 件 数	32件	44件	44件	46件	36件
検 挙 人 員	33人	42人	46人	30人	40人
被 害 者 数	24人	49人	46人	42人	25人

(1) 被疑者の状況

- 国籍・地域別では、日本が37人と約9割を占める。
- 風俗店等関係者が7人、暴力団構成員等が3人。

(2) 被害者の状況

- 国籍・地域別では、日本が18人で被害者の約7割を占める。外国人はフィリピンが4人、タイが3人で、この2か国により、過去5年間の外国人被害者の約9割を占める。
- 外国人の在留資格は、短期滞在が3人、興行が2人、日本人配偶者が2人。過去5年間で短期滞在が7割強、日本人配偶者が2割弱。
- 過去5年間で、被害者のほとんどが女性で、年齢別では日本人は20歳未満の者が約6割、外国人は20歳代の者が5割強を占める。

* 警察庁ウェブサイトより転載⇒



《講師》 **新井 淳 さん**

警察庁生活安全局保安課

人身取引対策係 警視

《日時》

2019年**11月1日(金)**

19:00～20:30(開場:18:45)

《場所》

**武蔵野プレイス3階
スペースC**

東京都武蔵野市境南町2-3-18

(JR/西武多摩川線「武蔵境」駅南口徒歩1分)

《参加費》 **無料** (定員25名)

《使用言語》 **日本語**

NFSJカフェは、人身取引・現代奴隷問題に取り組むノット・フォー・セール・ジャパンが、関心ある参加者と共に、お茶を飲みながら1つのテーマについて話したり映画を観たりするカジュアルな学びの場です。お気軽にご参加ください。

お問合せ・申し込み: japan@notforsalecampaign.org

またはフェイスブックのイベントページ(右QRコード)の「参加」ボタンを押してください。

主催: ノット・フォー・セール・ジャパン(NFSJ)

